

10時30分～11時00分 福祉用具 選び方セミナー

定員20名

「移動を助ける福祉用具、知っていますか？」

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

なごや福祉用具プラザ 作業療法士 富板 充 氏

歩行器や車いすなど、移動に役立つ福祉用具はたくさんありますが、使用する環境や使用される方の状態に合ったものを選ぶことが大切です。このセミナーでは、移動に関する福祉用具のそれぞれの特徴や使い方、選び方のポイントをわかりやすく解説します。これからの生活を安心・快適にするヒントがきっと見つかります！

13時30分～14時45分 製造業等の事業者向け 福祉分野参入促進セミナー

定員20名

福祉分野、とりわけ“移動”に関する製品等の研究・開発に挑戦している企業、大学、研究機関の取組紹介を織り交ぜながら、参入検討のきっかけ・参考となるトークセッションをお届けします。

「運転卒業後のQOLをどう守るか—高齢者の移動と社会参加を支える地域・企業連携」

国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター

健康長寿テクノロジー応用研究室 高野 映子 氏

高齢者が運転をやめた後、生活範囲が狭まり、社会的孤立や健康状態の悪化が懸念される一方、運転を続けることでの交通事故リスクも大きな課題となっています。

本セミナーでは、公共交通やライドシェアといった代替手段の活用の重要性や、モビリティ・関連製品等の導入が生活の質（QOL）向上にどの程度貢献したのかを評価する「客観的な指標」が今後の開発において果たす役割について解説します。

「トヨタ自動車が取り組む人生100年時代の福祉領域製品開発」

トヨタ自動車(株) VC開発部 町頭 史子 氏

トヨタ自動車では、『すべての「行きたい」を叶えていきたい』』をスローガンに掲げ、「移動」に困難を抱えている方の課題解決に挑んでおります。

本セミナーでは福祉領域の取組の方向性や、具体的な開発事例を紹介します。

「人に寄り添う『稲穂型歩行支援機』を活用した価値創出」

名古屋工業大学 教授 佐野 明人 氏

名古屋工業大学佐野研究室では、重力だけで人間の「歩行」という動作を再現する「受動歩行ロボット」の研究を基に、モーターやバッテリーを必要としない無動力歩行支援機を産学官連携で開発しています。本セミナーでは、長いかなと思う距離でもテンポよく歩いて足取りも軽い新原理の「稲穂型歩行支援機」を紹介するとともに、同機器を活用した価値創出に向けての産学連携ニーズを発信します。

トークセッション

体験会（※事前申し込みが必要なもの）、セミナーのお申し込みは右のQRコードからご登録ください。



会場アクセス

あいち健康の森
公園 第一駐車場
より徒歩すぐ

